

## 経 済 部

カナダに影響のある、あるいはカナダ

の政策に重要な意味合いをもつ日本および国際経済の動向を調べるのが主な仕事。同時に、カナダ経済の動きについて、日本の政府担当者や企業に情報を提供する。具体的な担当分野は、銀行、国際金融、エネルギー、南北問題、二国間および多国間貿易政策問題、漁業、輸送など。



R. グラウリー 1等書記官  
● 経済担当



岩田昌典 次  
● 経済調査官



D. ライト 参事官  
● 経済担当



K. ルイス 2等書記官  
● 経済担当

## 政 治 部

カナダと日本の政治関係はきわめて良

好で、首相はじめ閣僚同士が相次いで相互訪問しているほか、日加外相定期協議など、さまざまな二国間会議や多国間会議でひんぱんに意見の交換・調整を行っている。両国とも先進国首脳会議（経済サミット）のメンバーで、今年七月にはオタワで第七回サミットが開催された。



D. G. ロンク ミュア 参事官  
● 政治担当

議会間の交流も盛

んで、日本に「日加議員連盟」、カナダには「加日議会友好協会」が組織されて



D. キレット 1等書記官  
● 政治担当

いる。政治部は、カナダの政策決定に重要な政治性をもつた日本の外交および国内政策の傾向を分析、評価し、カナダ政府に報告するのが仕事。

特に、両国の大臣や担当官同士の協議および日本の主要諸国との関係、国内の政



A. ジョーンズ 2等書記官  
● 政治担当

界の動向、労働関係に関する分析、国会議員同士の交流に重点をおいている。

広報部学術交流担当の渡辺も政治部に属している（兼任）。

## 防 衛 関 係 担 当

日本の防衛庁および自衛隊との連絡協

議にあたるほか、カナダ軍に関する問合わせの窓口でもある。R. E. ジョーシ 海軍大佐 大使館付武官



## 科 学 技 術 部

日本の科学技術の

動向についてカナダ政府に報告し、また科学技術の面で日加セクションの主な仕事である。カナダは、その豊富な天然資源と広大な国土を開発する中から、さまざまな科学技術を発展させた。これまでカナダが特に力を入れてきた研究開発プロジェクトは食糧増産の分野。おかげでカナダは世界でも有数の穀倉地帯になっている。



J. コックフル 参事官  
● 科学技術担当

カナダは、その豊富な天然資源と広大な国土を開発する中から、さまざまな科学技術を発展させた。



田中 誠一 科学技術調査官

そのほか、鉱産物の探査・採掘、水力発電、原子力発電（天然ウランと重水を使うキヤントロウ型原子炉は、現在オンタリオ州で七基が稼働中、同州など三州であと十二基が建設中）、宇宙衛星（カナダは世界初の国内用通信衛星を含む八個の衛星を打ち上げている）、スペース・シャトル用遠隔操作システムに見られるような宇宙科学・工学、双方向テレビ報システム（テリドン）、光通信、短距離離着陸機などの分野で、世界的に優秀な技術を誇っている。

ここ数年、科学技術の分野で日加間の

## 領 事 部

互に訪問している。

在日カナダ人および旅行中のカナダ人に対する領事業務が主な仕事。パスポート（身分証明書）の発行・更新、国外で生まれたカナダ人の市民権取得の受け付け、審査、カナダ市民の保護、登録、公証の代理業務、カナダ人代理業務、カナダ年金の受給手続きなどをを行う。カナダから関係など政府関係者が来日するときの儀典業務も、領事部の任務である。



R. P. アーシャンプホー 1等書記官  
● 領事



G. C. フォーリー 2等書記官  
● 領事

ら関係など政府関係者が来日するときの儀典業務も、領事部の任務である。



D. W. ウィットニー 3等書記官  
● 副領事



中元 幸司 領事官

## 公 証 人 代 理



浦上 鈴子 公証人代理